

# 岡谷市議会 総務委員会 行政視察報告書

## 【総体事項】

1. 視察日程：平成24年10月16日（火）～18日（木）
  
2. 調査事項（視察先）
  - （1）スポーツ合宿誘致促進事業（静岡県 島田市）
  
  - （2）ノーテレビ・ノーゲームデーの実施  
無作為抽出による審議会等公募委員候補者募集事業  
（愛知県 知立市）
  
  - （3）消防団サポートプロジェクト  
防災バス・あんしん号（岐阜県 関市）
  
3. 視察参加委員

委員長	武井	富美男
副委員長	清水	将弘
委員	今井	康喜
委員	鮎澤	美知
委員	共田	武史
委員	山之内	寛

## 【視察地毎の報告】

### 1. 調査事項

スポーツ合宿誘致促進事業（静岡県 島田市）

人口：約 99,200 人      面積：約 316 km<sup>2</sup>

（視察事項）

島田市は、大井川河川敷に整備されたマラソンコースを利用したスポーツ合宿の誘致を推進している。行政が窓口となり事業を展開しているが、市にスポーツ経済部を組織するなどスポーツと経済を一つにした取り組みで、合宿で訪れるチーム、人数も増加しており成果があがっている。

2. 視察日時      平成24年10月16日（火） 13：30～16：30

### 3. 参加者所感

- 岡谷市としても交流人口の拡大、スポーツの振興の面からも取り組んで行けば良いと思う。
- 様々な法律の制約がある中で、「できない」ではなく「利用できる」状況にしていく前向きな姿勢はすばらしいと感じた。岡谷市でもスポーツ施設や宿泊施設の利用について再構築していく必要を感じた。
- スポーツ経済部として、スポーツと観光、商工、農業などの産業の領域にわたって事務事業を所管すること自体が稀であるが、何よりも発案者、創立者の熱意がカギであるとのことは印象的であった。岡谷市とは土地の状況等比べるまでもないが、顧客誘導の活動の実際からは、学びとるべきことが多くあると思う。
- 市民と行政が力を合わせ合宿誘致に取り組んでいる姿に感銘を受けた。諏訪地域にも高地トレーニングとして好適地があり、近隣自治体と力を合わせ合宿誘致や観光開発に取り組んだらどうかとの思いを新たにした。

## 【視察地毎の報告】

### 1. 調査事項

ノーテレビ・ノーゲームデーの実施

無作為抽出による審議会等公募委員候補者募集事業（愛知県 知立市）

人口：約69,000人      面積：約16km<sup>2</sup>

（視察事項）

慢性的な睡眠不足、実体験の不足などの問題が指摘される、子どものテレビ視聴やゲームの使用について、知立市ではノーテレビ、ノーゲームデーの強調週間を設け取り組んでいる。また、固定化傾向である審議会等の委員を無作為抽出により募集し、市政の活性化を図る取り組みが行われている。

2. 視察日時      平成24年10月17日（水） 13：30～15：30

### 3. 参加者所感

「ノーテレビ、ノーゲームデーの実施」

- 子どもがバランスよく生活をすることは必要で、生活のリズムを壊すメディア漬けの生活から、時々子どもを引き離すことは必要だと考える。岡谷市も学校図書館指導員配置などの施策に取り組んでいるが効果が見えないので、アンケート調査など実施したらどうかと思う。
- ゲームやテレビ漬けから一定時間子どもを引き離す試みを、市の事業として実践に踏み切ったことは先駆的であり勇気がいることと思う。事業がもたらした子どもの変化などの教訓を知りたいと感じた。岡谷市での事業化は難しいと思われるが、評価や教訓は容易に活かせるのではないかと思う。
- テレビやゲームに熱中することにより学習意欲の低下や読書離れにつながるとされており、岡谷市においても事業として取り入れるべきと思う。

「無作為抽出による審議会等公募委員候補者募集事業」

- 岡谷市も固定化した審議委員等が多いと思われるので取り組んでも良いのではないかと思う。

- 様々な方が委員になることで新しい風が市に入ると思われる。岡谷市においても大いに参考にして導入すべきと強く感じた。
- 岡谷市においても、市政により多くの市民に関心を持って参加してもらうために研究してみる必要があるのではないか。

## 【視察地毎の報告】

### 1. 調査事項

消防団サポートプロジェクト

防災バス・あんしん号（岐阜県 関市）

人口：約91,000人      面積：約473km<sup>2</sup>

（視察事項）

関市は、消防団員及び団員の配偶者が市内の参加店で「サポートカード」を提示することにより、割引などの「特典」が受けることができるサポートプロジェクトを実施している。また、市独自で防災バス（大型バス）を配備し、災害時の後方支援、市民の防災意識の向上に活用している。

2. 視察日時      平成24年10月18日（木）9：30～11：30

### 3. 参加者所感

「消防団サポートプロジェクト」

- 岡谷市においても、団員の励みになる施策と思われるので取り組んでも良いのではないかと。
- 岡谷市でも小さな実践があるが、消防団員確保・啓蒙の取り組みとして参考にすべき点は多い。
- まず、関市の商店の協力体制には敬服した。岡谷市においてもこのようなサポート事業への取り組みは必要と考える。

「防災バス・あんしん号」

- 安全安心のシンボルとなっている。広い市域では利用、活用の方法は多く考えられるのではないかと。
- 全国に例のない防災バスという大胆な発想と実践力は得がたい。
- 大地震の発生も危惧される時代であり、動くハウスとして諏訪広域で配備できないものだろうかと思う。